

臓器移植推進 協会だより

第31号

(発行者)

公益財団法人栃木県臓器移植推進協会
理事長 稲野秀孝

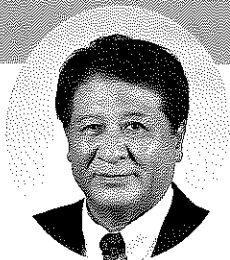
(編集責任者)

企画委員長 村山直樹

(事務局)

宇都宮市昭和1丁目3番10号
栃木県庁舎西別館4階
TEL 028-625-7350
FAX 028-625-7362

「巻頭言」



公益財団法人栃木県臓器移植推進協会 理事長 稲野秀孝

今年度、理事長を拝命いたしました稲野秀孝でございます。

臓器移植推進協会だより第31号（令和2年度版）の発刊にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

関係者の皆様には日頃より当協会の事業運営に関しまして、格段の御指導御鞭撻を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、平成22年7月の「改正臓器移植法」の全面施行後、これまでに全国では、649例（令和2年12月末現在）の脳死下での臓器提供例が報告され、本県においても15件の脳死下での臓器提供と、3件の心停止後の提供があるなど、徐々にではありますが移植医療が着実に推進されつつあると考えております。

一方で、県内の腎臓移植希望者は昨年12月末現在で215名、他にも心臓、肺、肝臓、膵臓及び小腸など、依然として多くの方々が臓器移植を待ち望んでいる状況にあり、今後とも、県民への臓器移植の理解を深める普及啓発活動をより一層充実させる必要があると考えているところです。

当協会では、毎年10月の臓器移植普及推進月間に県、医療機関、患者団体、ライオンズクラブなどの御協力をいただき、街頭キャンペーンを開催していましたが、今年度は新型コロナ

ウイルス感染拡大防止のため、県央・県南地区において、県及び事務局のみで実施するなど、例年に比べ、活動内容が制限されてしまいました。

しかし、マスメディアを利用した啓発活動や、臓器移植推進月間をPRするための懸垂幕の掲示、プロスポーツチームとのオリジナリティ豊かな共同企画を実施するなど、県民各層の皆様へ、臓器移植に関する理解を深めていただくため、できる限りの事業を積極的に展開したところです。

また、小・中学生や高校生などに移植医療を通じて命の尊さを学んでいただくために実施している「命の学習会」事業につきましても、同様の理由から今年度は中止とさせていただきます。今後、一日も早い終息を待ちながら普及啓発活動が再開できるよう願っています。

当協会は、公益財団法人に移行して9年目を迎え、今後とも臓器移植の普及啓発活動の充実や、移植医療を円滑に実施するための事業を幅広く実施し、より公益性の高い法人として発展して参る所存であります。

結びに、医療機関をはじめとする関係機関、団体の皆様はもとより、県民の皆様には臓器移植の推進に向けて、更なる御理解と御支援を賜りますようお願いを申し上げます。

専 門 委 員 会 だ よ り

臓器移植推進会議（企画委員会）活動

委員長 村山 直樹（協会理事）

本会議は、臓器移植推進事業の一層の充実を図ることを目的に、平成27年度から従来の企画委員会を「栃木県臓器移植推進会議」として拡充し、今年度で第6回目の会議を開催いたしました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による会議といたしました。栃木県臓器移植推進事業の現況や今後の取組について、各委員に提示させていただき、令和2年度事業の実施状況や令和3年度の事業計画案について承認いただいたところです。

令和2年度の意味表示カード普及啓発事業において、県、県透析医会、腎友会及びライオンズクラブ等に御協力をいただいて毎年実施している「街頭キャンペーン」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県央（宇都宮市）・県南（佐野市）の2地区だけで県と事務局のみで小規模に開催しましたが、宇都宮タワーをグリーン色でライトアップする事業については、宇都宮タワーが耐震工事中のため実施できませんでした。

また、臓器移植への理解を深めるため、命の大切さについて学ぶ小・中・高校生を対象とした講座「命の学習会」についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきました。

人気プロスポーツチーム「宇都宮ブレックス」との共同企画事業である、有名選手等を「栃木県臓器移植推進サポーター」に任命し、普及啓発活動の一役を担っていただくこと、更に12～2月に開催された試合の会場において、オリジナル意味表示カードを入場観戦者に配布する事業については実施することができました。

コーディネート活動奨励事業では、院内移植

コーディネーターの皆さんに対し、円滑な情報連絡・相談体制等を構築するための研修を年に3回実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会は中止し、資料の送付のみといたしました。

そのほか、支援型飲料自動販売機設置事業については、今年度も1施設で設置していただき、合計7台になりました。

次に、令和3年度の事業計画については、感染症の動向によりますが、「臓器移植普及推進街頭キャンペーン」や「命の学習会」など、従来からの普及啓発事業の着実な実施、また、プロスポーツチームとの共同企画の継続実施や、日本臓器移植ネットワーク、栃木県等との連携を強化し、各般の事業を幅広く実施するとともに、支援型飲料自動販売機の設置促進を図ること、マスメディアの効果的な活用などについて提案し、承認されました。

透析委員会活動

委員長 齋藤 修

透析委員会では、県内の透析医療機関の協力を得て、毎年12月末日時点での「人工透析医療実態調査」と、新たに透析療法を導入された患者さんの状況について、患者匿名により医療機関から報告していただく「透析導入調査」を行っています。

両調査の結果につきましては、それぞれ分析の上統計処理したものを公表し、行政の腎不全対策や、透析医療の質の向上に役立たせていただいております。

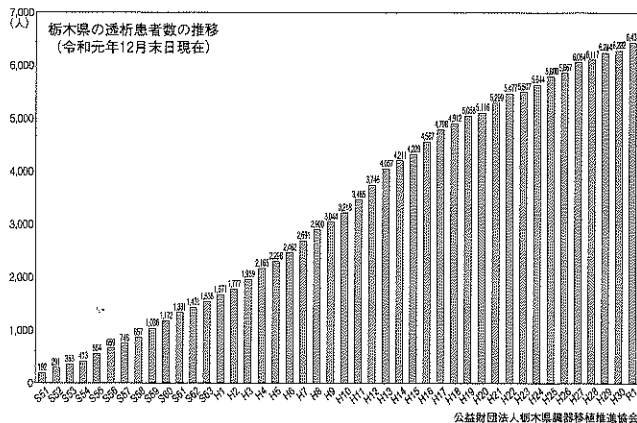
今年度の委員会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とし、令和元年分の調査結果の分析と、令和2年分の調査実施計画の策定を行いました。

令和元年分の調査結果につきましては、その

一部（透析医療機関と透析患者の動向、腎臓移植の現況等）を本紙に別掲しておりますが、全透析患者数は平成30年より149人増加し6,431人、平均年齢は68.0歳でした。急激な増加の時代は終わり、なだらかな増加傾向が続いています。原疾患別では、糖尿病性腎症が45.1%、慢性糸球体腎炎（ネフローゼを含む）が29.6%と多くを占めています。また、1年間の透析導入患者数は864人、平均年齢は67.77歳でした。

各透析医療機関におかれましては、実態調査の趣旨を御理解いただき、記入上の注意等を確認の上、記入もれや誤記入のないよう、よろしく御協力をお願いしたいと思います。

今後とも、透析委員会の活動に御理解と御協力をお願いします。



できごと

臓器移植普及推進月間における「街頭キャンペーン」

当協会の普及啓発活動の主な事業の一つであります「街頭キャンペーン」は、栃木県、透析医療機関、栃木県腎友会、ライオンズクラブ等関係団体の協力をいただき、10月の臓器移植普及推進月間に併せて、県内3か所で実施していました。

しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県央地区及び県南地区だけで、県及び事務局のみの体制で小規模に開催しました。

【県央地区】宇都宮市・オリオン通りイベント広場

10月4日（日）天候にも恵まれ、昨年に引き続き「オリオン通りイベント広場」で開催しました。

県から2名、事務局2名の4人体制で、消毒を万全に行いながらできるだけ人との接触を避けて本県オリジナルの「臓器提供意思表示カード付きリーフレット」に啓発グッズ(エコバッグ)をセットにしたものを配布しました。また、同様の理由から毎年実施しているアンケート調査も今年度は中止としました。

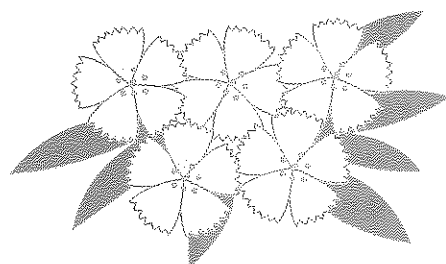
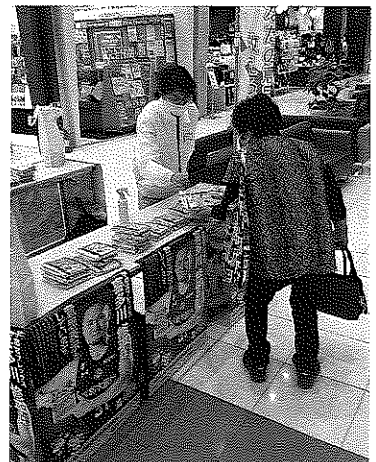
感染防止に努めながら、500セットを配布しました。



【県南地区】佐野市・イオンモール佐野新都市店

10月10日（土）、屋内スペースをお借りしてキャンペーンを実施しました。県から1名、事務局2名の3人体制で、県央地区同様に消毒を万全に行いながらできるだけ人との接触を避けて「臓器提供意思表示カード付きリーフレット」と啓発グッズ(エコバッグ)のセットを配布しました。

感染防止に注意しながら、300セットを配布しました。



宇都宮ブレックス・ホームゲームにおけるキャンペーン開催

宇都宮ブレックスには、普及啓発ポスター及び意思表示カード付きリーフレット作成など数多の御協力をいただいております。

令和2年12月20日（日）と令和3年2月6日（土）の二日間、ブレックスアリーナ（宇都宮市体育館）で行われたホームゲームにおいてキャンペーンを開催しました。

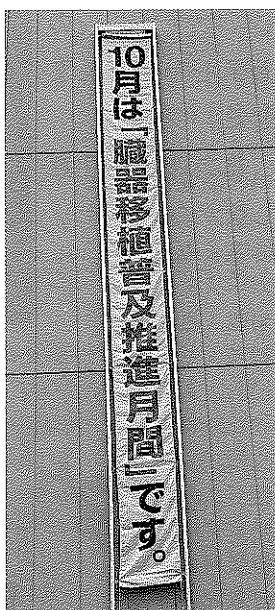
意思表示カード付きリーフレットを入場者全員に配布したほか、ポケットティッシュを2階特設コーナーで配布し、普及啓発を行いました。



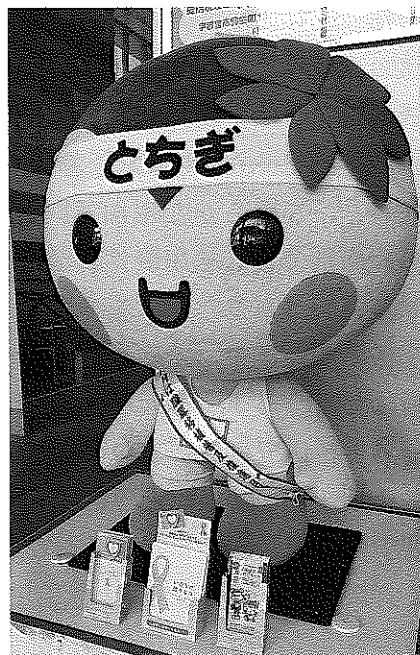
「県庁施設への懸垂幕の掲示」 「とちまるくん人形への飾りつけ」

昨年度に引き続き10月の臓器移植普及推進月間に合わせて、県庁北別館に「10月は臓器移植普及推進月間です」と書かれた懸垂幕を掲示し、来庁者や通行する方々への周知活動を行いました。

また、県庁正面玄関のとちまるくん人形に推進月間を知らせる飾りつけを実施し、来庁した方々への周知をいたしました。



なお、例年実施していた宇都宮タワーのライトアップについては、タワーの耐震工事が10月に行われたため、今年度は中止となりました。



臓器移植推進サポーター任命式

オリジナル臓器提供意思表示カードの作成・配布や普及啓発ポスターの作成・掲示などで多岐にわたり協力をいただいている『宇都宮ブレックス』との共同企画の一環として、今年度も、ブレックスの有名選手と専属チアリーダーに「栃木県臓器移植推進サポーター」として、幅広く広報普及活動を行っていただいています。

当協会では、去る9月15日（火）に、栃木県医師会において、今年度の「栃木県臓器移植推進サポーター任命式」を行いました。

サポーターに任命したのは、昨年度に引き続き喜多川修平選手と専属チアリーダー「BREXY」のYASUKAさんの2名で、当日は、喜多川選手及びYASUKAさんに当協会の稲野秀孝理事長から任命書と臓器移植のシンボルであるグリーンリボンバッジが手渡されました。

喜多川選手は、「臓器移植がより多く行われるよう、全力で広報活動のお手伝いをさせていただきます。」と抱負が述べられました。

このサポーター任命式や街頭キャンペーンでの普及啓発活動の様子は、TV・ラジオ・新聞等多くのマスメディアで報道され、臓器移植推進に関して、多くのPR効果を生み出しました。



関係団体報告

新型コロナ禍における栃木県腎友会の活動状況について

栃木県腎臓病患者友の会 会長 長山 八洲稔

栃木県腎臓病患者友の会(栃木県腎友会)は、県内で透析を受けている方々で組織する患者会で、令和2年度は①現行透析医療制度の維持、②腎移植の推進、③医療等に関する情報提供等の事業を行い、新型コロナウイルスの禍中においても、会員一人一人が透析ライフを安全・安心に送っていただけるようサポート活動を行っております。

①現行透析医療制度の維持

昨今は国民医療費の飛躍的な増大と国の財政上の理由から、透析患者の自己負担増が全国的に行われております。しかしながら、県内で透析を受けている約6,300人の3/4が60歳以上の高齢者で、その生活実態は年収200万円未満という厳しい経済環境におかれています。本会ではこの現状を広く訴え、公的補助による透析医療制度を改悪することなく、透析患者の自己負担軽減を継続するよう、全国腎臓病協議会が主催している国会請願署名活動に地元国会議員の協力を得て国に要望しております。また県難病連と合同で透析医療の現行制度維持を栃木県に要望しております。

②腎移植の推進

県内透析患者の1/4が60歳未満の働く世代です。こうした方々は、腎移植を受けることで厳しい透析生活から離脱し、健常者とはほぼ同じ社会活動ができるようになります。本会では、臓器提供意思表示と移植医療の普及促進活動を行っている栃木県臓器移植推進協会に積極的に協力しております。

③医療等に関する情報提供

新型コロナウイルス感染拡大の中、基礎疾患を抱える私たち透析患者は感染防止のため、密になる食事会やイベント等への参加を自粛しております。また施設クラスター防止のため、院内では患者同士の接触が制約される等、透析患者間のつながりが疎になり、さまざまな情報が不足する傾向にあります。このため本会では会報誌「栃腎友だより」の発行を隔月から毎月発行に切り替え、透析専門医の指導の下、会員の皆様に感染予防等に関する情報提供を行っております。

以上のように新型コロナの禍中ということで、本会では人が集まる活動を自粛しておりますが、会員の皆様に対し、引き続き今までとは別の方法でサポートをして参りたいと考えておりますので、読者の皆様におかれましても、御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

(以上)

移植関係者

今できること



臓器移植推進サポーター (BREXY)
YASUKA

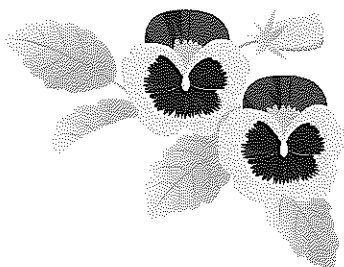
皆さんこんにちは！昨年引き続き、臓器移植推進サポーターに任命していただきました、プロバスケットボールチーム・宇都宮ブレックス専属チアリーダー BREXYのYASUKAです。

推進サポーターの任命式では、#31喜多川選手とともに参加し、決意表明させていただきました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、毎年参加させていただいている街頭キャンペーンなどのPR活動が思うように出来ていないことが現状ですが、テレビや新聞で任命式の様子をみて、声を掛けていただくことが昨年よりも多くなりました。今シーズンも推進サポーターとして、今できるPR活動をしていきたいと思しますのでよろしくをお願いします。

臓器提供意思表示リーフレットをブレックスの試合会場や街頭キャンペーンで受け取っていただいた方も多と思います。その中には、記入方法や臓器提供の流れ、脳死について記載されており、「臓器提供意思表示カード」がついています。これから意思表示をしようと思ってる方、まだ迷っている方も臓器提供・臓器移植について知ることができます。そして、最後のページには、意思表示の内容はいつでも、何度でも変更可能と書かれています。自分と向き合い、家族と話し、今の気持ちを示してほしいです。

臓器提供について詳しく知る前は「臓器提供意思表示」と聞くと、臓器提供を希望する人だけがするものだと思っていましたが、希望しない人も意思表示ができ、自分の意志を形にしておくことが大切だと知りました。意思表示には、臓器提供意思表示カードだけでなく、健康保険証、運転免許証、マイナンバーカード、インターネットによる意思登録といった様々な方法があり、自分に合った方法で意思表示をすることができます。

私たち一人ひとりが意思表示をすることで、多くの命をつなぐことができます。チアリーダーとして、笑顔と元気を届けるとともに、多くの大切な命のために推進サポーターとしての活動に努めています。



栃木県慢性腎不全治療の概要

協会では、前身の腎不全対策協会発足時から20有余年にわたり、毎年、栃木県内の人工透析医療実態調査を行い、透析患者数の推移などについてデータ化し、腎不全治療に役立てていただくため、公表しております。これも透析医療機関の皆様方のお陰でありまして、改めてお礼を申し上げます。

令和元年末における人工透析医療実態調査の主な結果は次のとおりです。

透析患者は、患者数推移のグラフ（P3）でも分かるとおり、急激な増加の時代は終わり、なだらかな増加傾向が続いています。全透析患者数の原疾患別の割合では、慢性糸球体腎炎が29.6%（前年比1.0ポイント減少）、糖尿病性腎症が45.1%（前年比1.9ポイント増加）で、糖尿病の割合は年々増加の一途です。次いで、腎硬化症、のう胞腎の順となっております。

1. 人工透析施設の動向

	令和元年	平成30年	平成29年
透析施設数	78	78	79
同時透析能力	2,804	2,696	2,668
患者収容能力（人）	8,123	7,688	7,805
CAPD実施施設数	9	8	11
夜間透析実施施設数	38	36	37

2. 透析患者の動向

	令和元年	平成30年	平成29年
(1)透析患者総数（人）	6,431	6,282	6,224
入院患者数	527	469	508
透析方法			
①血液透析	6,311	6,204	6,142
（うちHDF）	820	709	471
（うち家庭透析）	7	7	3
②腹膜透析	120	78	101
（血液透析併用含む）			
(2)透析導入・死亡（人）			
年間透析導入患者数	864	614	797
年間死亡患者数	705	593	612

3. 腎臓移植の現況

	令和元年	平成30年	平成29年
(1)年間腎臓移植患者数	34	30	32
献腎移植	5	2	1
生体腎移植	29	28	31
(2)腎臓移植者総数(累計)	631	597	567
献腎移植	93	88	86
(3)臓器提供者数(年間)	2	2	0
{ 献腎(心停止後腎臓提供)	0	1	0
{ 脳死下臓器提供	2	1	0
臓器提供者数(累計)	30	28	26

【参考】 血液透析患者の週当たりの透析回数と時間(CAPD、HDの併と在宅透析は除く)

週3回	5時間以上	439人
週3回	4時間以上5時間未満	4,266人
週3回	4時間未満	1,409人
週2回	5時間以上	6人
週2回	4時間以上5時間未満	70人
週2回	4時間未満	104人
週1回	4時間以上5時間未満	10人

新たな国民病なのに1割の国民しか知らないCKD(慢性腎臓病):新型コロナ流行下での音楽動画によるソフトパワー啓発活動

慢性腎臓病はChronic Kidney Diseaseの略号CKDが全世界共通の病名です。最重症のCKDは末期腎不全(尿毒症)であり、腎代替療法(透析療法か腎移植)なしには生存できません。我が国では最重症に至らない保存期CKDを含めて、成人8人に1人がCKDと推定されています。そして8人中残りの7人はCKDにかからないのではなく、一生の間に日本人の2人に1人はCKDになり(生涯罹患リスク約50%)、しかもそれは進行性です。これが「CKDは新たな国民病」と言われる理由です。

ところがそれにもかかわらず、私たちの過去3回実施した街頭アンケート調査では、9割以上の日本人は、このCKDという病名すら知りません。そしてCKDは末期まで自覚症状がないの

が普通なので、かかっていることに気付かないまま病気を悪化させてしまっている人は膨大な数と推定されます。

私たちRAV-CKD(CKD啓発動画研究会)は、CKDへの関心を高めてもらうために、2010年秋より多数の啓発動画を製作・公開してきました。2019年、2020年の視聴回数総計はいずれも2万5千回近く、過去10年間での総再生回数は27万回を超えています。

10年目の節目である2020年は、コロナ禍による活動制約があり、本来予定していた啓発支援音楽コンサートや絵画展が全く実施できませんでしたが、新型コロナによる健康被害を減らす上でもCKDの認知度アップは重要な課題です(CKDが新型コロナ感染症の重症化危険因子であることがしばしば報じられていますので、多少とも認知度が上がったのかもしれないと願っておりますが、残念ながらコロナ禍の今は街頭調査を安全に実施できる状況ではありません)。そこで昨年は県内外のプロ演奏家や、音楽を愛する医師の素晴らしい歌唱、或いはお子さんのピアノ連弾など、音楽関係者からの多大なるサポートをいただいて動画作成に専念し、11本もの新作動画を制作公開いたしました。直接的にCKDの解説をする典型的な医療啓発動画はすでに多数あるので、CKDという疾患名への関心を高めてもらうことを目的とした、いわばソフトパワー戦略です。

これら動画の映像には、栃木県民であれば思い当たる場所がいくつも入っており、親しみやすい音楽とともにどなたでもお楽しみいただけます。皆様もぜひRAV-CKDホームページ(<http://www.ckd-ckd.jp/>)に掲載の新作動画をご家族やご友人・ご同僚と共にご覧いただければと思います。

2021年1月 RAV-CKD代表幹事 安藤 康宏
(国際医療福祉大学病院 予防医学センター・腎臓内科)



CKD啓発動画研究会

Research unit for Awareness Video of Chronic Kidney Disease

YouTube | Instagram | Facebook | LINE

楽しい音楽と動画でああなたの元気を応援するよ!



CKD啓発動画研究会とは CKDとは CKD啓発動画の紹介 ニュース・ブログ RAVとCKD3人気が お問い合わせ

おすすめ新作動画



秋の花 ポッパー

YouTube

ニュース・最新情報一覧

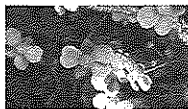
- お知らせ ポッパーの「秋の花」を公開しました。
- お知らせ ポッパーの「いつか美しい日のように」を公開いたしました。
- お知らせ 「ふたりで逃げよう!」ポッパー ガヴォットを公開しました。
- お知らせ サン・サーンの「白鳥」の動画を公開しました。
- お知らせ ピアノ連弾「夜汽車」の動画を公開しました。
- お知らせ 「大いなる世界:川村哲也 with サロンオーケストラジャパン」を公開いたしました。

ニュース・最新情報一覧を見る

図1 CKD啓発動画研究会ホームページトップ画面 (http://www.ckd-ckd.jp/)

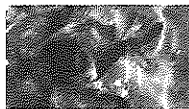
動画一覧

CKD啓発動画 CKD投稿動画 楽しいCKD解説動画 世界のCKD啓発動画 全て



秋の花 ポッパー

まだ暖かさの残る秋の陽射し
が感じられる曲に、素直に9月
末の山野の花々の映像を合わ
せてみました。



いつか美しい日のように ポッパー

秋を感じる、まさに曲名の通り
の美しい作品です。途中で
チェロの宮地さん、ピアノの村
山さんの演奏姿もご覧いただけ
ます。



「ふたりで逃げよう!」 ポッパー ガヴォット

軽快なポッパーのガヴォット。
本来舞曲曲ですが、疲れ知ら
ずで逃げ回る元気な子供の
動きはこの曲にぴったりな感じ
ですね。



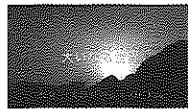
白鳥 サン・サーンズ

誰もが知るこの美しい曲を、
チェロ、ピアノ、そして映像で
お楽しみください。



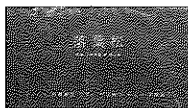
夜汽車 ピアノ連弾

小学生の姉妹が小さな手で
一生懸命演奏している微笑ま
しいピアノ連弾の小曲に、初め
の列車旅の映像を合わせ
てみました。鉄道ファンなら、
どこなのかすぐお分かりにな
るのではないのでしょうか?



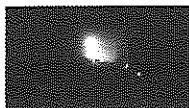
大いなる世界:川村哲也 with サロンオーケストラ ジャパン

冬秋の端境の日光白根山から
の眺めとともに、「大いなる
世界(Canto Della Terra)」を
お楽しみください。朝々たる美
声で歌い上げている川村哲也
さんは、腎臓の専門医である
と同時に、長年プロ歌手とし
て活躍され、何枚ものCD作
品集を出されています。



落葉松

典日光の秋の落葉松の情景
とともに楽しみください。



ある、ありふれた話

大谷資料館の巨大な地下空
間の映像とともにご覧ください。



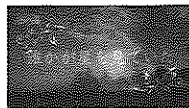
オーソレ・ミオ

さまざまな太陽~日差しの情
景とともに楽しみください。



平城山

塩原溪谷の紅葉とともに楽し
みください。



誰かが星を見ていた:朝 霧の尾瀬ヶ原

左手のためのピアノ曲として
演奏されています。尾瀬の風
景とともにご覧ください。



慢性腎臓病CKD啓発 サートin 宇都宮トリオ・フ ルール&白石佐和子ダイ ジェスト

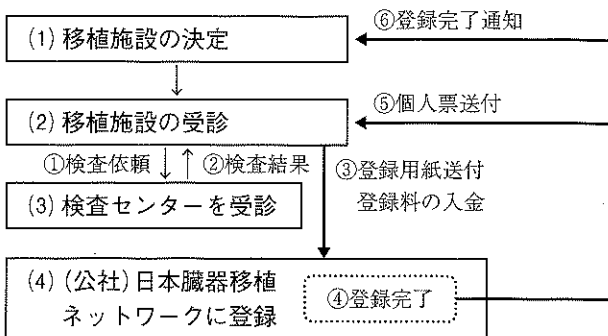
宇都宮で開催されたCKD啓
発サートの模様をダイジェスト
でご覧いただけます。



図2 2020年は音楽演奏家の方々にご協力いただき、親しみやすい音楽とさまざまな映像を組み合わせた動画を11本制作~公開。

献腎移植希望の登録について

献腎移植を希望する場合は、(公社)日本臓器移植ネットワークに登録しなければなりません。栃木県での手続きは次のとおりとなります。



(1)移植施設の決定 (栃木県の場合)

腎臓 自治医科大学附属病院／獨協医科大学病院
 脾臓 (脾腎同時移植可能) 獨協医科大学病院
 ※担当医師とよく相談し、紹介状を書いてもらいます。なお、上記病院の電話番号は次のとおりです。自治医科大学附属病院 (Tel0285-44-2111)、獨協医科大学病院 (Tel0282-86-1111)

(2)移植施設を受診

健康保険証、身体障害者手帳、紹介状を持参し受診します。

(3)検査センターを受診 (栃木県の場合)

◆自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部

◆獨協医科大学病院 臨床検査部

組織適合検査(採血のみ)を行います。検査費用は施設によって異なりますが、4万円前後です。

なお、検査費用の一部助成制度がありますので、(公財)栃木県臓器移植推進協会 (Tel028-625-7350) に確認してください。

(4) (公社)日本臓器移植ネットワークに登録

登録料は3万円です。次の年からは更新料として毎年5千円かかります。

なお、登録料及び更新料は医療費控除の対象となります。また、生活保護世帯の方や生活保護世帯

以外の生活困窮者の方は費用が減免になります。

詳しくは、(公社)日本臓器移植ネットワークのホームページ (<http://www.jotnw.or.jp>) で御確認ください。

(5)次の臓器も栃木県の医療機関で移植を受けることができます。

肺	獨協医科大学病院
肝臓 (18歳未満限定)	自治医科大学附属病院
肝臓	獨協医科大学病院
	(脳死体からの移植を除く。)
小腸	自治医科大学附属病院

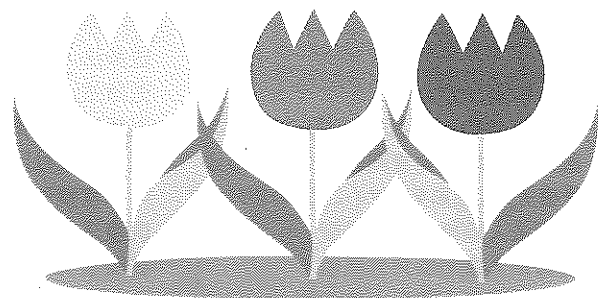
(6)臓器提供、臓器移植の現状

2020年(1~12月)中に、日本で行われた臓器提供は77件あり、うち脳死での提供が68件、心停止後の提供が9件ありました。この期間の栃木県内では、脳死での提供が1件ありました。また、これらの提供により、318名の方が移植を受けることができました。

移植者の現状は次のとおりです。

	平均待機期間 (移植希望登録日から移植日までの期間)	移植後 5年後の 生存率
心臓・心肺同時移植	約3年3ヶ月	93.0%
肺・心肺同時移植	約2年5ヶ月	72.1%
肝臓・肝腎同時移植	約1年4ヶ月	83.1%
脾臓・脾腎同時移植	約3年4ヶ月	93.6%
小腸移植	約11ヶ月	70.3%
腎臓移植	約14年9ヶ月	91.2%

〔日本臓器移植ネットワークNews Letter vol.24 2020〕より



透析医療機関のみなさまへ

透析患者さんの不測の事態に備え、「緊急透析患者カード」を配布しています。

御希望の透析医療機関は、「公益財団法人栃木県臓器移植推進協会」までお申し出ください。

オモテ

緊急	透析患者カード			
<p>私は腎不全のため透析治療を受けています。もし、気を失ったり、倒れていた時は、最寄の医療機関に運びとともに、すぐに下記の透析医療機関に通報して下さい。</p>				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>病・医院名</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> </tr> <tr> <td>住 所</td> </tr> </table>		病・医院名	電話番号	住 所
病・医院名				
電話番号				
住 所				

ウラ

緊急	氏名	血液型 ()
生 年 月 日	M T S H	年 月 日生
住 所		
自 宅	電話	
非常時連絡	電話	
公益財団法人 栃木県臓器移植推進協会 電話 028-625-7350		

事務局通信

平成26年度から「臓器移植普及推進のための募金運動」を展開しており、今年度も多くの機関から御支援をいただきました。

本誌上をお借りして、厚くお礼申し上げます。(敬称略)

●医療機関 (募金収納順)

- | | | |
|---------------------------|-----------------|---------------------|
| 荒木医院 | 医療法人宇都宮健康クリニック | ゆめクリニック |
| 医療法人秀和会山川耳鼻咽喉科医院 | 宮田耳鼻咽喉科クリニック | さいとう医院 |
| 医療法人社団医心会中川内科クリニック | 医療法人社団一水会橋本医院 | 医療法人佐藤皮フ科クリニック |
| 吉原医院 | 小林医院 | 医療法人加藤クリニック |
| 小嶋内科医院 | 医療法人はしもとクリニック | 医療法人緑水会川野クリニック |
| 石川外科医院 | 斎藤医院 | 医療法人櫻会中谷医院 |
| 石塚産婦人科医院 | 医療法人社団翠会田村医院 | 医療法人飯野医院 |
| 医療法人慈仁会飯塚医院 | 岡田皮フ科耳鼻咽喉科クリニック | 宇都宮協立診療所 |
| 養護老人ホーム若草園 | 佐野医院 | 佐野医師会病院 |
| 樹レディースクリニック | 上野医院 | 布川小児科医院 |
| 医療法人慈誠会橋本腎内科クリニック | 鎌田浅香医院 | 医療法人開生会奥田クリニック |
| 医療法人慶生会目黒医院 | 医療法人帯経会 | 医療法人博友会原眼科医院 |
| こひらメディカルクリニック | 医療法人貴和会大野内科医院 | 医療法人桃李会御殿山クリニック |
| クレア心療内科医院 | 小菅胃腸外科クリニック | 一般社団法人足利市医師会 |
| おおはしアイクリニック | 医療法人増山胃腸科クリニック | 医療法人環の会真岡メディカルクリニック |
| 医療法人社団緑会佐藤病院 | 那須赤十字病院 | 医療法人佐藤クリニック |
| とちぎメディカルセンターしもつがきぬの里クリニック | 医療法人千秋会大場医院 | 医療法人裕和会越戸クリニック |
| 医療法人都賀中央医院しもつけ腎・内科クリニック | 医療法人博愛会杉村病院 | 青い鳥こどもクリニック |
| 医療法人創生会真岡西部クリニック | 医療法人都賀中央医院 | 医療法人社団徳仁会中野病院 |
| 医療法人社団順英会アイ・こころのクリニック | 医療法人社団二樹会村山医院 | 医療法人たかはら会 |
| 医療法人慈啓会白澤病院 | 宇都宮整形外科内科クリニック | 医療法人宇都宮新直井病院 |
| 医療法人泉心会坪水医院 | 医療法人誠之会氏家病院 | 新上三川病院 |
| 特別養護老人ホーム梅の里 | 医療法人社団なかつばクリニック | 社会福祉法人豊郷 |
| 小野内科循環器科医院 | 二宮中央クリニック | 二宮中央腎検診クリニック |
| 山崎小児科医院 | せき内科胃腸科クリニック | 医療法人徳真会真岡病院 |
| | 医療法人恵会皆藤病院 | そはら内科医院 |

医療法人松本内科医院	医療法人聖真友愛会友井内科クリニック	医療法人北村クリニック
医療法人社団洋精会沼尾病院	吉澤眼科医院	宇都宮腎・内科・皮膚科クリニック
ちかざわレディスクリニック	医療法人仁山会中山内科医院	手塚内科医院
竹村内科腎クリニック	公益社団法人栃木県柔道整復師会	ひらいで公園腎クリニック
栃木県済生会宇都宮病院	医療法人光風会光南病院	医療法人深澤クリニック
とちぎメディカルセンターとちのき	公益財団法人栃木県保健衛生事業団	旭眼科内科クリニック
自治医科大学附属病院	佐野厚生総合病院	医療法人柏木医院
稲野医院	医療法人健寿会	医療法人健寿会小山整形外科内科クリニック
足利赤十字病院	医療法人社団廣和会両毛クリニック	小野整形外科医院
医療法人信和会石川医院	栃木リウマチ科クリニック	はらクリニック
医療法人社団寛久会山田クリニック	さくら診療所	

●県庁各課室及び出先機関（募金収納順）

地域振興親睦交會	県土整備部都市整備課	砂防水資源課	鬼怒水道事務所親睦会
矢板土木事務所親睦会	環境森林部森林整備課	行政改革ICT推進課	産業技術・繊維技術センター
県立文書館	県土整備部都市計画課	県土整備部用地課	産業労働観光部国際課
鹿沼県税事務所親睦会	総合スポーツゾーン整備室親睦会	県南技術支援センター	総務事務センター
健康増進課むつみ会	経営管理部文書学事課	農政部畜産振興課	監査委員事務局親睦会
高齢対策課親睦会	観光交流課有志一同	職員厚生課親睦会	県土整備部建築課親睦会
県民生活部消防防災課	県土整備部河川課	環境森林部環境保全課	農業環境指導センター親睦会
広報課はるかぜ会	保健福祉部保健福祉課	産業労働観光部産業政策課	環境森林部自然環境課
教育委員会事務局施設課	国体・障害者スポーツ大会局施設調整課	県土整備部道路整備課親睦会	栃木県自動車税事務所
県民生活部県民文化課有志一同	環境森林部環境森林政策課	産業労働観光部労働政策課	安足土木事務所親睦会
下都賀教育事務所	教育委員会事務局文化財課	会計局会計管理課	企業局経営企画課
県東健康福祉センター	栃木県水産試験場	企業局電気課親睦会	農政部農政課
安足農業振興事務所	矢板県税事務所	烏山健康福祉センター	県立今市特別支援学校
教育委員会事務局高校教育課	保健福祉部国保医療課親睦会	県立美術館親睦会	塩谷南那須農業振興事務所
県南児童相談所	国体・障害者スポーツ大会局競技式典課	栃木土木事務所親睦会	県西健康福祉センター
県民生活部くらし安全安心課	宇都宮県税事務所	教育委員会特別支援教育室不易会	安足健康福祉センター
県民生活部人権・青少年男女参画課	県立博物館	県央家畜保健衛生所	宇都宮土木事務所親睦会
企業局地域整備課親睦会	農業試験場いちご研究所	経営管理部税務課むつみ会	上都賀農業振興事務所
安足教育事務所	大田原県税事務所	小山労政事務所	環境森林部林業木材産業課
産業技術センター親和会	栃木県税事務所とちの和会	農政部生産振興課	県北環境森林事務所
上都賀教育事務所	真岡県税事務所	県南高等看護専門学校	企業局板室管理支所親睦会
那須広域ダム管理支所	保健環境センター	今市健康福祉センター親睦会	県北産業技術専門学校
農業試験場	経済流通課親睦会	障害福祉課親睦会	労働委員会事務局むつみ会
県北家畜保健衛生所	とちぎ男女共同参画センター	大田原土木事務所	経営支援課親睦会
県立宇都宮女子高等学校	こども政策課親睦会	県立岡本特別支援学校	保健福祉部医療政策課
県土整備部道路保全課	県立わかかさ特別支援学校	県立衛生福祉大学校	矢板森林管理事務所
工業振興課	動物愛護指導センター	林業センター	栃木健康福祉センター
県立益子特別支援学校	計量検定所	県北健康福祉センター	塩谷南那須教育事務所
県西環境森林事務所	人事委員会事務局親睦会	北那須水道事務所	栃木県消防学校
栃木県公園事務所	教育委員会事務局学校安全課	県南産業技術専門学校親睦会	県南健康福祉センター
県立足利特別支援学校	河内教育事務所	統計課親睦会	県立大田原東高等学校
農政部農地整備課	農政部農村振興課	県立岡本台病院	人事課親睦会
那須教育事務所	烏山土木事務所親睦会	農業大学校親睦会	芳賀農業振興事務所
県央産業技術専門学校	全国障害者スポーツ大会課親睦会	教育委員会義務教育課親睦会	県立盲学校
総合教育センター	県南家畜保健衛生所	畜産酪農研究センター	市町村課親睦会
県立南那須特別支援学校	那須農業振興事務所	河内農業振興事務所	今市発電管理事務所
総合政策課親睦会	鹿沼土木事務所	企業局水道課親睦会	日光土木事務所親睦会
精神保健福祉センター	県立栃木特別支援学校	財政課親睦会	

●募金機関：261機関

●募金総額：1,581,259円（令和3年2月10日現在）

支援型飲料自動販売機の設置について（お願い）

当協会は、財産運用収入が年々減少し、収入確保が課題の一つとなっております。

そのため、収入の増加とPR強化を目的に、平成29年度からFVジャパン(株)、平成30年度からコカコーラボトラーズジャパン(株)の御協力で、支援型飲料自動販売機の設置事業を開始いたしました。この事業は、自販機の設置者様が指定する公益団体に売上の一部(寄付額は任意)を寄付するもので、飲料購入者も間接的に公益事業を支援するものです。自販機にはチラシなどを掲示でき、オリジナルデザインの自販機を設置することもできるため、PR効果も期待できます。

平成30年度に県内で初めて当協会の自販機を設置し、令和元年度末で6台が稼働していますが、今年度、栃木市片柳町の青木眼科医院でご賛同いただき、自販機を更に追加することができました。

県内では現在7台が稼働しており、これらの自動販売機からは毎月寄付金をいただいているほか、臓器移植推進PRにも貢献しています。

この支援型飲料自動販売機の設置事業に御理解をいただき、広く、医療機関開設者の皆様に自販機の設置に御協力くださるようよろしくお願い申し上げます。詳しくは当協会事務局にお問い合わせください。(TEL 028-625-7350)

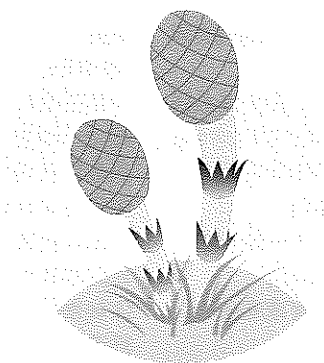
○既に設置している医療機関等は次のとおりです

獨協医科大学附属病院
医療法人慈啓会白澤病院
自治医科大学附属病院
済生会宇都宮病院
栃木県職員生活協同組合2台（県庁本館5階健康増進課前、県立衛生福祉大学校）

※青木眼科医院ははじめ上記機関からは毎月寄付金をいただいております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



青木眼科医院



編集後記

○協会だより第31号(令和2年度版)を発刊し、皆様にお届けすることになりました。これも偏に、お忙しい中御尽力をいただきました関係者の皆様のお陰であり、厚く御礼を申し上げます。

○改正臓器移植法が施行され、この10年間で県内の病院において15件の脳死下臓器提供が行われましたが、今なお、県内においては215名を超える方々が移植を希望されている現状にあり、一層の啓発活動が必要であります。

○今期は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臓器移植普及推進街頭キャンペーンの小規模開催や「命の学習会」中止など、普及啓発活動がかなり制限されてしまいました。一日も早い終息を願うとともに、日夜感染症に対応している医療関係者の皆様にこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

○これからも臓器移植普及推進のため、微力ながら精一杯、努めさせていただきますので、皆様のより一層の御理解、御支援と御協力をお願いいたします。(S生)